



「よのなか教室」の実践が広がっています！

小学校の取組 日向市立財光寺小学校 第6学年 総合的な学習の時間における『はまぐりプロジェクト』

【概要】日向市が推奨している「よのなか教室」の一環として、「はまぐり基石の里」のスタッフを同校に招聘して行われた授業です。まず、専務の黒木さんが「日向市のはまぐりや基石生産の歴史と現状」などについて、日向の伝統を守り続けていくことの大切さを踏まえ、分かりやすく説明されました。その後、基石手ずり職人歴50年の安藤さんの指導のもと、児童たちは実際にはまぐりの手ずり体験を行い、伝統技術の素晴らしさを学びました。



様々な苦労を乗り越えて、今に至っているのです。



手ずり体験の様子



はまぐりを基石にするときの手ずりは、とても難しかったです。伝統技術を守り続ける安藤さんや黒木専務さんは、かっこよかったです。

担当者

教育支援課 教育支援担当

の眼

財光寺小では、これまで試行してきた「よのなか教室」を踏まえ、今年度は各学年の各教科・領域の中に位置付けながら、その拡充を図っている。中でも本授業は次の2点が特に参考になると感じた。

- ① 授業企画者の稲田教諭は、10年研における「はまぐり基石の里」での社会体験を生かし、同所の方々から学んだことや体験したことを踏まえて本授業を再構成している。これによって内容がより充実したものとなった。
- ② 黒木専務さんが「日向産はまぐりの減少などによる経営の危機を、海外展開の視点を取り入れて乗り越えた」と語ってくださったが、その中に課題に立ち向かい、それを乗り越えて今に至っている大人の姿がしっかりと反映されていた。これにより、児童のふるさと日向や特産品に対する思いがぐっと高まっていった。（文責 中武）

中学校の取組 ① 小林市立西小林中学校 第2学年 総合的な学習の時間における『パネルディスカッション』

【概要】職場体験学習を前に、地域活性化のために活動されている4名の方々の職業観や地域への思いを知ることで、「働く人々から学ぶべき内容とは何か」について焦点化が図られました。「何のために働くのか？」だけでなく、「西小林を活性化させるために、これから考えられることは何か？」についても意見交換を行うことで、社会参画への意識も高まりました。なお、本取組はMRTの教育広報番組「みらい・みやざき まなび隊」でも紹介されました。

「地域の未来を考えよう！西小林中キャリア教育」 <http://mrt.jp/television/manabi/?contents=movie>



私たちの時代は各学年200人ぐらいいました。地方創生と言われてますが、皆さん方が将来のことをしっかりと考えていくことが大切です。



中学校の取組 ② 延岡市立岡富中学校 第1学年 総合的な学習の時間における『豊堤シンポジウム』

【概要】延岡市の岡富地区には、度重なる洪水からまちを守るため、大正から昭和の初期にかけて総延長2 kmにわたって造成された「豊堤」が残されています。川とともに生きた先人の治水対策の知恵であり、住民が協力してまちを守ったシンボルである「豊堤」について、1年生の生徒は、多面的・多角的に探究してきました。今回のシンポジウムでは、地域の方の他、この「豊堤」の研究に取り組んで、「九州『川』のワークショップ」グランプリに輝いた延岡工業高校土木科の3年生6名も参加してくれ、延岡の方言で寸劇を交えた説明を行ってくれました。その後、中学生の代表も一緒に、パネルディスカッション形式で、積極的な意見交換が行われました。



豊堤を通して、昔から延岡の市民が協力して防災に取り組んできた歴史をしっかりと受け継いでほしい。



豊堤の研究を通して、土木技術が地域防災に役立っていることを実感した。これからも、地域のために土木技術者として頑張っていきたい。

担当者の眼



教育支援課 教育支援担当

本県における今後のキャリア教育には、職業に対する理解を深める内容だけでなく、「地域の課題解決に取り組む思い」や、「郷土で仕事をする事への誇り」などを地域人材の方々に直接語っていただき(インプット)、それに対して子どもたち自身も語り合う(アウトプット)ような双方向的な取組が求められる。この視点から見た場合、両校の取組は次の点で大いに参考となるものである。

- ① **西小林中** 企業人ではない、いわゆる普通の方々をゲストに招き、地域の課題解決をテーマに同校の職員が聞き役となって話を聞き出している点。
- ② **岡富中** 自分達の先輩が郷土の遺産について解明した研究実績だけでなく、その先輩の進路や生き方への思い(県庁に就職できた。今後も土木技術を生かし、しっかりと郷土を守っていきたい。)についても聞くことができ、中学生が、あこがれだけでなく今後の進路選択についてもしっかりと考えている点。(文責 中武)

高等学校の取組 県立日向高等学校 フロンティア科第1学年 探究型学習『日向の魅力を向上させるには?』

【概要】フロンティア科の1年生(38名)は、8つのグループに分かれて「日向の魅力を向上させるには」というテーマで探究型学習を行っています。各グループには、日向の企業と日向市役所の若手職員が半年間にわたり、メンターとして一人ずつ配置され、生徒たちに指導とアドバイスを行うことで、学びの質が高まることが期待されます。平成29年3月には、研究成果をまとめ、日向市長に提言する予定になっています。



メンターとの協議の様子